

平成 26 年度第 3 回 流山市環境審議会 議事録

平成 26 年 7 月 28 日（月） 15 時開会 16 時 50 分閉会

出席委員：

新保國弘会長、赤坂郁美副会長、吉永明弘部会長、和田登志子副部会長、秋元五郎委員、足原英二委員、金森有子委員、朽津和幸委員、宮原久子委員、中大路早智江委員

欠席委員：

和田まつゑ委員、矢野光明委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

南雲環境部次長兼クリーンセンター長、染谷環境政策・放射能対策課長
片浦環境政策係長、遠藤主査、小山内主事

リジонаル・プランニング・チーム（コンサルタント）1 名

1. 環境基本計画素案について
2. 答申について
3. 日程について
4. 今期審議会を終えるにあたり事務局から委員への挨拶

【計画素案について】

発言者	要旨
部会長	（策定部会での検討経過について説明）
事務局	（市長・副市長からの意見・指示と検討経過について説明）
会長	改めて環境基本条例をみると、計画を定めるのは市長で、市長は審議会の意見を聴かなければならないとある。そういうことから、審議会と策定部会の仕組みをつくって案を検討し、また庁内の調整も行いながら、練り上げてきたものがこの計画素案である。まず、今の説明に対しての質問を、その次に全体を見通しての意見をお願いします。 市長からの意見で最も大きいのは、3 計画の今後の方向性をもっと具体的な表現で示すことと理解している。
全員	（説明への質問は特になし）
会長	説明への質問がないようなので、素案全体に対しての意見を。
副部会長	6 頁の※は 2 箇所あるので番号を付記されたい。 14 頁の※の参照元部分に※を付記されたい。 25 頁のグラフ上にある※部分は不要と思う。
事務局	（3 箇所について）修正する。
部会長	25 頁のグラフと 17 頁のグラフは同じ内容であるが、凡例の書き方が違っている。
事務局	17 頁の「1 人 1 日あたりごみ量」に揃える。
委員	同じグラフを再掲するのは避けたほうがよいと思う。
委員	どちらの頁にも必要な情報と思う。
副部会長	他の頁を開き直すよりも、再掲されたほうがよい。
事務局	当初は 17 頁はごみ処理費用だけだったが、内容を説明する意味でも、また市長・副市長の指示もあり 25 頁にあるごみ量のグラフも掲載した。
会長	17 頁ではごみ処理費用がメインということか。
事務局	17 頁には現状のように 2 つのグラフを並べるようにしたい。
副部会長	17 頁のアンケート部分で「犬のフンの放置やタバコのポイ捨てをしないルール徹底」とされたい。

事務局	修正する。
委員	17 頁に「そもそも」という表現が 2 箇所あるが、不要と思う。
事務局	削除する。
委員	25 頁のグラフについて、現状で表となっている資源化率・最終処分量をグラフにするとよい。
委員	説明では平成 23 年度から放射能の影響があったとされているが、ごみ処理費用はそれ以前から上昇傾向にあるのはなぜか。
事務局	処理費には、焼却施設の整備費や老朽化、市外に出している最終処分の単価等も影響している。平成 23 年度からは放射能の影響が特に大きいという状況である。
委員	文章の後にグラフを見ることで、よくわかるし、より知りたくなる。
委員	17 頁のグラフの説明が重要である。
副部会長	17 頁のグラフの説明で意図をはっきり伝えるために、2 段落目を「しかし、処理費用や」「増加しているの、さらなるごみ発生抑制が必要です。」としてはどうか。
会長	25 頁②の 2 段目の文頭も「しかし、」とする。
事務局	(副部会長委員及び会長の意見に沿って) 修正する。
委員	25 頁では、現状の表もグラフにして、2 つのグラフがあるのがよい。文と比べられるよう、文を左に寄せてグラフを右に縦に並べることはできないか。
事務局	表をグラフにして、レイアウトを修正する。
部会長	10 頁コラムの 2 段目の文末は「以下のように考えます。」のほうがよい。
事務局	修正する。
部会長	18 頁の文章表現について修正されたい。 森や林の管理の部分で、文頭を「市内では、」に。 今上落の部分で、文末を「河川清掃を行っています。」に。 まちをきれいに志隊の部分で、これは制度なので「行っている人々が登録されています。」に。 花と緑のボランティアの部分で、「行っている個人や団体です。」に。 坂川や富士川の部分で、水質調査が重複しているので文頭を「坂川や支流富士川では、小学 5 年生が」に、文末を「行っています。」に。
事務局	(部会長の意見に沿って) 修正する。
部会長	31 頁の条例第 8 条の 4 と 5 の文頭の位置がずれている。
事務局	修正する。
副部会長	33 頁で、文末を「行っています。」で揃えた方がよい。
事務局	修正する。
委員	全体的に、数字の半角と全角の使い分けをきちんとされたい。 19 頁の図で、三角を受けて支えているような線に違和感を感じるので、他の表現はないか。 19 頁の 2 段目は、「低炭素」「循環型」という言い方でよいのか。 25 頁①の目標で、「トン」は「t」に。
事務局	英数字の半角全角の使い分けは確認し統一する。 19 頁の図の表現については検討する。 「低炭素」「循環型」という言い方は、これまでの検討の結果であるため現状とする。 25 頁で、「トン」は「t」に修正する。
副会長	例えば 9 頁①や 10 頁目標指標など、※の参照元にも※を付記されたい。 18 頁の花と緑のボランティアの部分で、文末括弧内の読点の打ち方を揃えたほうがよい。 25 頁②の文末に、グラフを参照する旨を書いたほうがわかりやすい。 目次の参考資料部分は、内容の項目も示したほうがよい。
事務局	(副会長の意見に沿って) 修正する。
委員	各頁のヘッダー部分は斜体でなく通常の書体がよいと思う。
委員	ヘッダーにあるイラストは不要と思う。
委員	現状で見やすいと思う。

事務局	特に意見がなければ現状としたい。
副部会長	20 頁と 24 頁の表で、数字の位置を中に寄せたほうがよい。
事務局	表の余白を調整する。
会長	3 頁 (1) で、谷底低地の成因は複雑で長期にわたるため、「雨水や湧水等の侵食作用により」を削除されたい。
事務局	削除する。
会長	これらの修正事項を踏まえて、本計画素案を承認してよろしいか。
全員	(修正事項と計画素案を承認)

【答申について】

発言者	要旨
事務局	(答申について説明)
委員	内容はよい。7 行目「厚さ」という言い方はいらないかもしれない。
委員	わかりやすく良い文章と思う。
会長	出された意見を踏まえて修正することで、答申を承認してよろしいか。
全員	(答申を承認)